

市議会史上初

会津北嶺高校生による 市議会壇上での フリースピーチ

2月25日の会津若松市長による施政方針演説後、市議会史上初めて議会の壇上で会津北嶺高校3年生の大川原豪人君と牛木美結さんがフリースピーチを行いました。市では多様な世代から意見を聴取するため「高校生との意見交換会」を企画し、登壇前には広報委員会の澤村委員長、内海副委員長、3年生の牛木美結さん（会津短大へ）、嘉藤英里さん（ICU国際基督教大へ）、伊藤凜々子さん（亜細亜大へ）、鹿目佑衣さん（国際ワールド専へ）、大川原豪人君（トヨタ自動車大学校へ）

でプレ意見交換会も催されました。

フリースピーチで大川原君は、将来地元で車のメンテナンスやカスタムのできる店舗を営み活性化に努めたいと夢を語り、高校時代に参加した「全国盲導犬使用者の会 ボランティア」の経験を踏まえて、小さな段差や案内表示等、市内のさらなるバリアフリー化に関する意見を述べ、市議会の動きを広く知ってもらうためにもコンビニに広報誌を置いて欲しいなど、具体的な提案を行いました。続く牛木さんは、会津の自然や歴史の魅力、商店や企業の現状等をどう感じているかを高校生の視点で語り、大卒後は地元の魅力を発信し、立派に貢献でき

る存在となつて、さらに誇れる会津にしていきたいというメッセージを訴えました。思いのこもった主張に、発表後会場からは大きな拍手が沸き起こりました。「地元の若者の意見を議員の方々に聞き頂き、今後の市政に生かして頂く、とても良い機会になりました」と石山校長。

